

今月の

ブックトーク

夏は甲子園やスポーツの1番を決める大会も多い季節。9月には世界陸上も始まりますね。今日はちょっと変わった「いちばん」が出てくる本を紹介します。



ベンジャミン・エルキン・作
松岡享子・訳
太田大八・画
こぐま社

「世界でいちばんやかましい音」世界でいちばんやかましいガヤガヤの都に、誰よりもやかましいギョオギョオ王子がいました。もっとやかましい音が聞きたい王子のために「世界でいちばんやかましい音」が贈ら

れることになりました。王子の6歳の誕生日に世界中の人が同時にどなる計画です。町中にポスターが貼られ、その話題でもちきりです。ところが、ある一人の女の人が世界でいちばんやかましい音というのを、聞いてみたいと思い、自分だけは声は出さずにいようと考えました。するとその考えが世界中に広まってしまい……？

王子へのいちばんやかましい音の贈り物は成功するのでしょうか？

さて次の1番は？『口ひげが世界をすくう?!』の主人公、ヨーヨーは物作りが得意なおじいちゃんが大好き。でも、奥さんが亡くなってから、おじいちゃんは元気ありません。なにもせず新聞を読んでばかり。そんなある日、新聞をみていたおじいちゃんが「あっ!」と言って突然車に乗ってどこかへ出かけました。帰ってきたおじい



サラ・ミチャエラ
・オルロフスキー・作
ミハエル・ローハー・絵
若松宣子・訳
岩波書店

ちゃんはブラシヤはさみ、クリームなどをたくさん持っています。なんとおじいちゃんは新聞広告に出ていた「世界ひげ大会」に出場しようと思ったのです。元気のなかったおじいちゃんがイキイキとしはじめ、ヨーヨーは心から応援します。でもおじいちゃんに

いちばん〇〇なのは？

鈴木千尋／和光小学校学校司書

はひげが1本もありません!そこで2人はある計画をたて、あっと驚くいいアイデアで勝負します。さておじいちゃんは1番になれるでしょうか？

さて、次の本はいろいろな動物の1番がのっています。「どうぶつなんでも世界一」。では問題です。1番速い動物はなんでしょう?そう、チーターが有名ですね。でも実はもっと速い動物がいます。それ

ははやぶさです。獲物を狙って下降するスピードはなんと時速360キロ。逆に1番ゆっくりな動物はカサカムナメクジで、1キロ進むのに46日半かかるそうです。ほかに1番高く飛ぶ動物や、長生きの動物などいろんなナンバーワンがのっていますよ。



アネット・ティゾン &
タラス・テイラー・作・絵
佐藤見果夢・訳
評論社

最後は「どんぐりと山猫」という宮沢賢治の絵本です。ある土曜日の夕方、一郎のもとにおかしなハガキが届きました。「めんどな裁判」があるから出てほしいという内容です。一人で山猫をたずねていくと、ドングリたちが



宮沢賢治・作
田島征三・絵
ミキハウス

「だれがいちばんえらいか」言い争いをしていました。太ってるの、背の高いの、とがっているのが1番、と一歩もゆずらず、もう3日も言い争っているのだそうです。どうしたらいいかと山猫に聞かれた一郎

はあることを答えます。すると3日も続いていた裁判がたった1分半で片付きました。さて一郎はなにをいったのでしょう。気になる人はぜひ自分の目で確かめてください。

今日紹介したたくさんの方の1番たち。あなたの「いちばん」気になった本はなんでしたか？

